

# 「群馬大学PBL教育」に関するご提案

一般社団法人ジョブラボぐんま

# 本カリキュラムのコンセプト

## 目的

DX推進、イノベーション創発をできる人材の育成

## DX（デジタルトランスフォーメーション）人材

—ICTの活用を通じてビジネスモデルや組織を変革できる人材

## イノベーション人材

—新たな発想で新たな価値観を創出することができる人材

# 本カリキュラムのコンセプト

## 人材育成のための3つの学びとプロジェクト

ICT基礎教養（プログラミング・IoT基礎）

イノベーション創発手法

課題解決手法

PBL型の産官学プロジェクトの実施  
（課題リサーチ、課題設定、課題解決）

基礎教養を身につけた後、  
産官学のプロジェクトを実施

PBL型の  
産官学プロジェクト

ICT基礎教養

イノベーション  
創発手法

課題解決手法

# PBL教育のためのカリキュラム案

## 講義内容 (案)

- 1. ICTについての学び (13コマ)**
  - ・IoT概論 (4コマ)
  - ・プログラミング概論 (9コマ)
- 2. イノベーション創発手法についての学び (5コマ)**
  - ・イノベーション創発概論 (5コマ)
- 3. 課題解決手法についての学び (6コマ)**
  - ・課題解決手法概論 (2コマ)
  - ・ロジカルシンキング概論 (4コマ)
- 4. 企業リサーチ&インタビュー (6コマ)**
  - ・インタビュースキルアップ (2コマ)
  - ・企業リサーチ&インタビュー (4コマ)
- 5. PBL型の産官学プロジェクトの実施 (15コマ)**
  - ・PBL教育活動プログラム (15コマ)
- 6. その他 (5コマ)**
  - ・オリエンテーション (1コマ)
  - ・成果発表 (4コマ)

# カリキュラムの詳細

## 1. “ICTについての学び”について

ICTに関する知識、考え方は、DXやイノベーションを推進する人材に必要な基礎教養です。そのような視点から、2つの講義の実施を提案します。

- **IoT概論 (4コマ)**

Society 5.0の中核技術であるIoTで全ての人とモノがつながり、様々な知識が共有され、今までにない新しい価値が生まれる。社会の変革を俯瞰し、イノベーションのタネを見つける視点を養う。

- **プログラミング基礎 (9コマ)**

プログラミングを学ぶことで、論理的思考能力を身に付けられる。

# カリキュラムの詳細

## 2. イノベーション創発手法についての学び

イノベーションには、“技術革新”と“新結合”の2つの意味があります。本カリキュラムでは、“新結合”に着目し、新しいつながりによって新しい価値を作るための技術・手法について学びます。

### ・イノベーション創発概論（5コマ）

様々な地域資源をつなげるための技術として“地域コミュニティブランド”（Social Community Brand：SCB理論）について学びます。つながりを科学するSCB理論は、ネットワーク技術の一つであるP2Pを応用した地域活性化の理論です。

# カリキュラムの詳細

## 3. 課題解決手法についての学び

PBLでは、自ら課題を探す力が求められます。そこで、収集した情報からどのように課題・問いを見出すか？という方法と、解決のために必要な論理的思考方法について学びます。

- **課題解決手法概論（2コマ）**

リサーチやインタビューによって入手した情報から、どのように課題・問いを設定するのか？について学びます。

- **ロジカルシンキング概論（2コマ）**

設定した課題・問いをもとに、様々な事実や情報を組み合わせながら、漏れなく、抜けなく、論理的に思考する方法について学びます。

# カリキュラムの詳細

## 4. 企業リサーチ&インタビュー

企業情報を収集するためのカリキュラム。企業側はインタビューに応え、企業情報をデータベース化していく。この情報を元に、企業の課題発見、企業間の連携などを促す。桐生信用金庫との連携によって実施することを提案（未調整）。企業データベースは桐生市や商工会議所とも共有していくことを提案（未調整）。

### ・インタビュースキルアップ（2コマ）

企業インタビューの基本について学ぶ。インタビュアー、編集者などの役割、インタビュー内容の取りまとめ方について解説。

### ・企業リサーチ&インタビュー（4コマ）

2つの取組を実施。1つは、桐生市内の企業を中心に経営者へインタビューをオンライン&オフラインで実施。もう1つは、ネットを中心に企業情報の収集を実施。2つの方法で企業情報を収集、整理する。



# カリキュラムの詳細

## 5. 課題解決手法についての学び

3で実施した企業インタビュー内容を元に、学生が企業を選び、下記コースから選択して課題に取り組む。

そのため、1つの企業で複数のコースが実施されるケースもある。

### <コース案> \*各15コマ程度

- ・企業広報PRコース  
業界内、業界外へ当該企業の情報について伝え方を提案する
- ・企業カイゼン提案コース  
業務工程内においてカイゼン箇所を発見し、解決策を提案する
- ・企業課題発見コース  
企業が考える課題について、解決策を提案する
- ・企業連携コース  
企業側と連携して各社ごとの取組を実施する

# カリキュラムの詳細

## 6. その他

本カリキュラムを実施する上で必要なオリエンテーションや成果発表など。学生たちが収集した企業情報を共有し、PBLの各プログラムへの参加を促していく。

- **オリエンテーション（1コマ）**

講義内容のアウトライン、成績の付け方などを共有

- **グループワーク（4コマ/日）**

リサーチした企業情報を学生同士で共有する機会

- **成果発表（4コマ/日）**

PBLで実施した各プログラムの成果を発表する

# カリキュラムの実施について

ジョブラボぐんまの事業の一つに、群馬県庁32F官民共創スペース「NETSUGEN」において、実施中の「イノベーション人材育成カリキュラム」があります。コンテンツ提供の母体となっている「SCBイノベーションアカデミー」は、熊本の一社SCBラボが、産官学民と連携して取り組む人材育成事業です。本企画書で提案した講義内容はすでにカリキュラムがあるので、それらを活用することでスムーズなスタートができるのではないかと考えております。

- ・IoT概論（4コマ）：崇城大学情報学部准教授 植村匠先生
- ・プログラミング基礎（9コマ）：崇城大学情報学部教授 星合隆成先生・同准教授 植村匠先生
- ・イノベーション創発概論（5コマ）崇城大学情報学部教授 星合隆成先生
- ・課題解決手法概論（2コマ）・ロジカルシンキング概論（4コマ）  
ソトバンク株式会社 プロトマ社 メイト本部 業務戦略統括部 地域振興推進室 担当部長 馬場博史先生  
\*以上、オンライン実施可能。各先生には非常勤講師の発令をお願いします。
- ・インタビュースキルアップ（2コマ）ジョブラボぐんま（小保方・宮坂ほか）
- ・企業リサーチ&インタビュー（4コマ）ジョブラボぐんま（小保方・宮坂ほか）

## 参考：SCBイノベーションアカデミー

- ・一般社団法人SCBラボが主宰するイノベーション人材育成のための活動。
- ・熊本（コンセプトラボ株式会社）・福岡（株式会社SCBイノベーションアカデミー福岡校）・群馬（一般社団法人ジョブラボぐんま）の3拠点で連携して実施中。
- ・学びのためのプラットフォームを構築、活用することで、場所（熊本：崇城大学IoT・AIセンター、TSUTAYA3年坂、未来会議室、道の駅など10箇所以上、福岡：1箇所、群馬：群馬県庁32F官民共創スペースNETSUGEN他、1箇所の計2箇所）、教材（書籍数冊、新聞記事、テレビ番組など）、カリキュラム（現在、20程度のカリキュラムがある）などを共有し、ローコストに実施できるのが特徴。

### <参考>

- ・地域コミュニティブランド <https://scblab.jp/about-scb.html>
- ・一般社団法人SCBラボ Facebook <https://www.facebook.com/scblab/>
- ・SCBイノベーションアカデミー熊本校案内 [こちら](#)
- ・SCBイノベーションアカデミーぐんま校キックオフイベント [こちら](#)